



# やまだ

## 議会だより

国道45号から見た山田湾口（船越・長林）

No. 122  
2008.11.15発行



おれって跳んでる？脅威のジャンプ力…決定的瞬間（町民体育祭より）

9 月  
定例会

沼崎町政3期目の所信をただす — 2P

山田町ふるさと応援基金条例を制定 — 3P

決算特別委員会 — 4P

町の考えを聞く — 9P

3常任委員会で所管事務調査 — 23P

## 条例関係

- 山田町ふるさと応援基金条例  
本町に対し貢献、応援したいという趣旨の寄付金をまちづくり事業に充てるため関係条例を制定しました。
- 地方自治法の一部を改正する法律（平成20年法律第69号）の施行に伴う関係条例の整理に関する条例  
地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例が改正されたことにより、関連する条項を改めました。

## 予算関係

- 一般会計補正予算（第3号）  
1億4,636万円を追加。総額66億8,611万円。
- 国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）  
5,480万円を追加。総額26億8,412万円。
- 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）  
684万円を減額。総額1億3,881万円。
- 老人保健特別会計補正予算（第2号）  
1,891万円を追加。総額2億609万円。
- 介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）  
3,914万円を追加。総額13億7,423万円。
- 介護保険特別会計（サービス事業勘定）補正予算（第1号）  
66万円を追加。総額332万円。
- 簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）  
309万円を追加。総額8,864万円。
- 漁業集落排水処理事業特別会計補正予算（第2号）  
45万円を追加。総額1億4,847万円。
- 公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）  
200万円を追加。総額4億669万円。

## 人事案件

- 固定資産評価審査委員会委員の選任同意  
10月8日に任期満了となる町固定資産評価審査委員会の委員に、貫洞征功さん(64)＝飯岡＝(再任)、昆裕司さん(60)＝織笠＝(再任)を再任することが決まりました。任期は向こう3年間です。



貫洞 征功さん



昆 裕司さん

## その他一般議案・選挙

- 平成19年度山田町財政健全化判断比率についての報告  
地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第111号)第3条第1項の規定により報告を行いました。
- 平成19年度公営企業会計における資金不足比率についての報告  
地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第111号)第22条第1項の規定により報告を行いました。
- 財産（動産）の取得  
第1分団の消防ポンプ自動車の取得（1,680万円）に関する契約締結。

## 議員発議

- ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書  
農家が安心して米の生産ができるようミニマムアクセス米の輸入停止を求めるものです。
- 原油高騰への緊急対策を求める意見書  
「福祉灯油」の拡充と農林漁業、運輸業、中小零細企業などへの緊急支援対策などを行うよう求めるものです。

「ふるさと納税」を財源に、まちづくり事業に活用することを目的として「山田町ふるさと応援基金条例」が提案され、審議の結果、原案のとおり可決されました。この条例により、ふるさと山田に対して貢献・応援したいという思いで寄付された方のご意向を尊重し、目的に沿って活用されること

## 山田町ふるさと応援基金条例を制定

これは、平成20年4月30日に地方交付税等の一部が改正され「ふるさと納税制度」がスタートしたことに伴い、個人が自治体に寄付を行った場合に、5千円を越える部分について、一定限度、個人住民税の1割程度まで所得税と個人住民税から税額控除ができるものです。町では、本年第2回議会定例会（6月11日）から

13日）において、寄附金税額控除に関する条例「山田町税条例の一部を改正する条例」を可決しています。

## 防災行政無線機器更新を実施

今回の一般会計の補正は、防災行政無線の老朽化により庁舎および消防署の無線機器の更新に伴う増、岩手県後期高齢者医療広域連合

- ▽負担金や後期高齢者医療特別会計への繰出金の増などが骨子で、主なものは次のとおりです。
- ▽防災費（防災行政無線整備工事費など） 3,697万円
- ▽老人福祉費（後期高齢者医療広域連合負担金など） 6,631万円
- ▽非常勤消防費（消防団員活動服購入費など） 9,311万円
- ▽学校管理費（小中学校燃料費、校舎修繕料など） 1,241万円

# 沼崎町政やまだ丸出港 3期目の所信をたただす



定例会初日に所信を述べる沼崎町長

## 町民参画と住民協働による 活気あふれるまちづくりを進める

定例会初日、沼崎町長は、3期目の町政を担当するにあたり、町政全般にわたる所信表明を行いました。町長は「引き続き、公平、公正な町政を基本に『自主・自律・協働』のまちづくり

## 行財政改革の断行と産業振興に全力

を基本理念として、町民参画と住民協働による活気あふれるまちづくりを進め、町民の皆さまから寄せられた負託に応え、行財政改革の断行と当面する最大の課題である産業振興の促進に

9月定例会は、9月22日から10月10日まで19日間の会期で開かれました。初日には、町長が向こう4年間の町政全般にわたる所信を表明。一般質問（9月21日に掲載）には12人が登壇し、町長所信や教育行政、老人福祉行政など幅広く町政について質問。総額13.3億円に及ぶ一般会計と特別会計の平成19年度決算は、決算特別委員会の集中審議の結果、すべて認定されました。そのほか、山田町ふるさと応援基金条例や補正予算などが提案され、審議の結果、原案どおり可決されました。最終日には、採択された請願に伴う議員発議の意見書などを可決し、19日間の会期を閉じました。

全力を傾注する」決意を表明しました。具体的施策として①地域の特性を生かした農林水産業活性化のための積極的支援②山田の魅力を生かした商工業・観光事業の育成強化③生活環境基盤整備の促進と山田の海を守る施策の充実④少子高齢社会に対応した子育て支援と福祉・

保健医療の充実⑤教育環境整備で山田の未来を拓くことづくりの推進⑥山田町の自立に向けた行財政改革のさらなる推進の6項目を掲げ、その実現のために全力を挙げて取り組んでいくことを強調。これに対し12人の議員が一般質問に立ち、それぞれの立場から所信をただしました。

# 決算特別委員会

## 一般会計決算などに活発な議論

決算特別委員会は、10月8日から10日まで町中央コミュニティセンターで開かれました。特別委員長には、木下志生子委員を選出。3日間にわたり一般会計や介護保険特別会計など9会計の平成19年度決算を審議しました。ここではその審議の概要をお伝えします。

### 括疑 総質



昨年のサケまつりの様子。本年は11月30日と12月7日に開催されます

#### 実質公債比率と 自主財源比率の改善理由

**問** 18年度に比べ実質公債比率と自主財源の比率が良くなっている理由は。今後は、緊縮財政を改め、各事業にある程度投入しては。  
**企画財政課** 16年度に一括償還した分の影響額がなくなったため、19年度末の実質公債比率が下がった。自主財源は町税の徴収を努力した結果である。  
**町長** 経費削減を行ってきたが、まだやらなければならぬことがある。今までも行ってきたが、必要と判断した事業であれば財政調整基金を取り崩して実施することもある。

#### 実質公債比率の引き下げ 町の運営に支障が出るか

**問** 実質公債比率をどこまで下げるのか、下げすぎると町の運営に支障が出るのでは。  
**町長** 現在の15・6%の水準を維持すれば、町の事業には影響を及ぼさずに運営できると考えている。

#### 県内での所得位置と 所得向上に向けた対策

**問** 県内35市町村で比較した場合の町民所得位置と所得向上に向けた対策は。  
**総務課** 町民所得は、17年度は上から26番目である。金額については、16年度

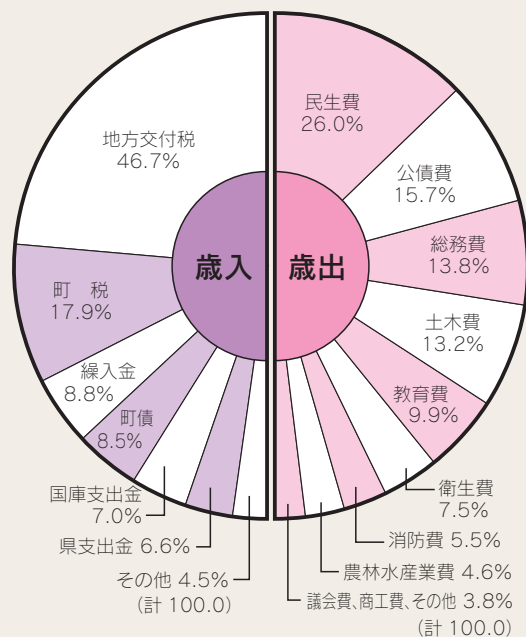
より0・81ポイント減り、171万3000円となっている。所得向上のため、山田の特産品の販売ルート拡大に力を入れている。

#### 交流人口増やすため 観光事業を積極的に

**問** 交流人口を増やす仕組みを構築し、交流型の観光事業を積極的に進めるべきだと思うが。  
**産業振興課** 過去においてタブの木荘やマリンパーク山田など、行政が携わってきた事業は、維持継続ができなかった。町としては、民間資本を基本として、やる気・意欲・計画性を勘案しながら、できる限りの支援をしていきたい。

# 平成19年度決算額

◆一般会計 歳入 68億6,654万円  
歳出 67億8,383万円



## ◆特別会計など (上段=歳入、下段=歳出)

国民健康保険	26億9,829万円	26億 134万円
老人保健	18億1,341万円	18億1,339万円
介護保険	13億3,891万円	13億 651万円
介護保険 (サービス事業勘定)	259万円	193万円
簡易水道事業	8,722万円	8,412万円
漁業集落排水処理事業	1億4,221万円	1億4,148万円
公共下水道事業	4億 839万円	4億 758万円
水道事業	収入 3億8,239万円	支出 4億9,515万円

## 魚菜市场を建設し 商店街活性化を

魚菜市场などを建設して商店街の活性化、経営向上、観光振興を図っては。

産業振興課 国民の観光に対する変化に対応できなかったが、産業活性化推進協議会の中で対応したい。急に市場などは建設できないので空き店舗対策に力を入れて行きたい。

## 地域営漁計画の内容 関係者へ周知徹底

漁協の合併を実現させ

るため、各漁協の財務状況決算状況などを把握しているか。

また、地域営漁計画が関係者に対し、周知されていないのでは。

産業振興課 単年度黒字の漁協もあるが、繰越欠損金が多いため、昨年より悪化した漁協もあり、厳しい状況に変わりにない。

地域営漁計画については、漁民自身の計画であることを確認し、各単協だけではなく、5漁協が集まって協力しながら、関係者へ周知徹底されるように働きかけていく。

## 収入未済額の解消と 不納欠損金の防止を

監査委員より、収入未済額の解消と不納欠損金の防止に取り組むことを要望されているが。

税務会計課 税の収納率は県内最下位だが、職員の努力で昨年度より3ポイント上昇している。今後も努力を続けていく。

## 水道使用料金の 滞納増加への対策は

水道使用料の滞納額が600万円近くあり、年々

増加している。対策は、水道事業所 収入未済額は増えてきている。法で定められている方法を実行しながら徴収に努めたい。



3日間に及んだ決算特別委員会

## 参考 平成19年度一般会計で使われた1世帯当たりの金額 (19年4月1日現在 7,231世帯)

民生費 (福祉の向上のために使われる経費)	244,014円
土木費 (道路の整備や区画整理事業に使われる経費)	123,891円
公債費 (事業を行うため借りたお金の返済に充てる経費)	147,702円
総務費 (一般事務費などに使われる経費)	129,567円
教育費 (小中学校の管理や社会教育に使われる経費)	92,815円
衛生費 (各種検診やごみ処理に使われる経費)	70,342円
農林水産業費 (農林水産業の振興に使われる経費)	42,924円
その他 (消防費、議会費、商工費など)	86,905円
合計 (1世帯当たり)	938,160円

## 一般会計

### 税徴収率県最下位 平均値まで上げよ

**問** 税の徴収率は県内最下位である。平均値まで上げるべきだ。

**町長** 人事にも配慮して成果はでてきた。なおいつそう努力する。

### 今後の町債残高 どのぐらいの額か

**問** 町債残高は今後どのように推移するか。

**企画財政課** 20年度末93億1500万円、21年度末88億円、22年度末82億円、23年度末75億円、24年度末70億円と予測している。

### 第8次総合発展計画と 各団体計画に整合性を

**問** 行政は政策誘導する自治体である。第8次山田町総合発展計画と各団体の計

画に整合性が必要では。  
**産業振興課** 事業主体の考えを尊重しながら、町としてできる支援をしていく。

### 漁協経営支援策 利子補給の成果

**問** 漁協経営の安定支援で利子補給の成果が見られないようだ。財務改善のため職員が減り、指導力も落ちているのでは。

**産業振興課** それなりの成果はあったと考える。組織の力が落ちているのも事実だと思う。そのためにも合併を進めるべきだと考える。

**問** 水産業を生かすため、市場への補助を増やすべきでは。

**産業振興課** 漁港占有料に對して50万円の補助をしている。山田漁連は単年度では黒字であり、妥当な額と考える。

### 旧マリノパーク跡地 協議会への賃貸料は

**問** 旧マリノパーク跡地の賃貸料はどのようになっていくか。

**地域整備課** 花と緑の協議会と当初契約した5年間の

無料期間が過ぎ、来年度から有料になることから、周辺の草刈り作業をして貰い、その賃金を賃貸料に充てることにした。

### 住宅確認申請件数と 許可されるまでの期間

**問** 住宅の確認申請の件数は。また、申請が許可されるまでの期間はどの程度かかるか。

**地域整備課** 昨年は79件。不許可はなかった。住宅については、町が受け付けしから7日以内に県が許可する。ただし、書類の不備などがある場合は、書類が整うまで県は許可しない。

### 保留地早期販売のため 津波対策を急げ

**問** 土地区画整理事業の保留地が早期販売されるためには、津波対策も含めて考える必要があるのでは。

**地域整備課** 津波対策は、防潮堤、水門工事など、県の事業で行うものであり、土地区画整理事業とは別である。県が実施している事業については、毎年要望している。

## 反対討論

■佐藤照彦 議員

以下の理由で反対する。  
第1は、県内最下位グループにある町民所得を向上させるための施策において、事業の分野で地域営漁計画を作るなど前進はあるが意欲的な取り組みと成果が現れていない。第2は、財政出動を伴った総合的、積極的な子育て支援、あるいは一人暮らしをはじめ高齢者対策、障がい者対策などで積極的な対応が図られていない。社会的弱者に福祉憲章条例をもった町にふさわしい取り組みを求める。



津波対策のため防潮堤の早期整備が望まれます（柳沢地区）

## 織笠外山線の街灯暗い 安全確保のため増設を

**問** 国道から山田高校へ向かう道路、織笠外山線の街灯が暗い。安全確保の観点からも、街灯の増設を早急に実施すべきでは。

**地域整備課** 織笠外山線は、県代行で整備したものである。道路完成後、高校生の通学路でもあり、街灯を5カ所設置した。まだ暗いとのことだが、現場を見て検討したい。

## バスの乗り降りが大変 ひとこやさしいバスを

**問** 大浦地区まで運行しているバスは、ステップが高く、お年寄りには乗り降りが大変である。乗り降りしやすいバスにならないか。

**総務課** 県北バスと毎年契約している。その際に要望を伝える。

## 保育料滞納者に対し 登園拒否などの処分は

**問** 保育料の収入未済額が年々増えている。滞納に対して差し押さえや、登園拒

否などの処分はあるか。

**保健福祉課** 町民所得の減少などもあり、滞納が増えている。本年3月に保育所徴収金徴収規則を制定した納めることができるのに納めない人には、差し押さえなどの滞納処分を本年度から実施する。

児童福祉法では、児童の退去などはできないことになっていない。

## 社会福祉協議会の 自立に向け指導を

**問** 社会福祉協議会を自立に向けて指導していくべきでは。

**保健福祉課** 平成18年度から事務移管などとして、992万8000円を補助している。今後、事業内容収益などの決算額をチェックしながら自立に向けて検討していく。

**問** 社会福祉協議会の保健センター使用料は、**保健福祉課** 年間70万8000円。

## 障がい者団体への補助 手当を増やすべき

**問** 手をつなぐ親の会など

への補助金が少ない。弱い人たちへもつと手当を。

**保健福祉課** 過去において補助金以上に繰越金があった団体があり見直した経緯がある。今後検討していく。

## 教員住宅入居希望 整備して対応すべき

**問** 豊間根中学校の臨時教員が、地区内にある教員住宅への入居を希望しても住めなかったようだ。

**教育長** 教員住宅の補修工事が必要となるため、他地区の住宅を提供した。入居希望があれば、できるだけ地元に住んでもらえるようにしたい。

## 学力検査の結果と 健全育成の留意点

**問** 生徒指導において重要なことは、学力の向上と健全育成であるが、学力検査の結果と健全育成について、学校などで留意している点は。

**教育委員会** 学力向上と健全育成は、両方がお互いにかかわり合いながら高まっていくものであると認識している。



街灯の増設が望まれている織笠外山線

学力の向上については、先生に対し、子供達が理解しているかどうか確認しながら授業を進めるようお願いしている。

CRTの結果は、全国平均並みに近いところまで向上している。全国学力学習状況調査では国語は全国平均に近く、算数・数学は努力が必要である。

**問** 中学生がタバコを吸っているとの話を耳にする。このような問題は、過小評価しないで早めの対応を。

**教育委員会** 問題行動が起きたときには、最初の対応とその迅速さが大事である。早めの対応をしたい。

### ことは…CRTとは

「学習指導要領」に示された「基礎的・基本的な内容」の定着状況を適切に把握できるように作成された標準学力検査のこと。



# 町の考えを聞く



一般質問は、住民に代わって行財政の運営を監視する機能を有する議員に与えられた権利で、町の行財政全般について執行機関の所信や疑義をたずることができます。

本定例会では、議員12人が以下の一般質問を行いました。次頁以降に掲載する各議員の一般質問記事は、紙面の都合上1人2問までとしています。

## 吉川 淑子 議員——10P

- 町長所信表明について  
(農業振興・合併処理浄化槽・町道福土線法面改修・防災対策・子育て支援対策・第4期介護保険事業計画の策定)

## 鈴木 善十郎 議員——11P

- 町長所信表明について  
(水産行政・観光行政・道路行政・子育て支援・町立図書館の整備)

## 稲川 勝憲 議員——12P

- 町長所信表明について  
(産業振興・観光事業・合併処理浄化槽の設置・学校給食・町立図書館の整備)
- 山田中学校格技場の改築について

## 道又 秀悦 議員——13P

- 町長所信表明について  
(行財政改革・産業振興・山田町産業活性化推進協議会・水産業振興・町立図書館の整備・ふるさと納税制度)

## 阿部 幸一 議員——14P

- 建設業への対応について
- 指定金融機関について
- 庁議での政策提言について
- 朝の出勤について
- 町長所信表明について  
(水産行政・観光行政・合併処理浄化槽の設置・行財政改革)

## 佐藤 忠暉 議員——15P

- 燃油価格の高騰対策について
- マイマイガの卵の駆除について
- 旧県立山田病院跡地と県立山田病院合同宿舍跡地の利活用について
- 町長所信表明について  
(観光行政・下水道整備計画・交通安全対策・岩手国体)

## 山崎 幸男 議員——16P

- 町長所信表明について  
(水産業振興・農業振興・商工観光振興・生活環境基盤整備・福祉の充実)

## 豊間根 信 議員——17P

- 町長所信表明について  
(産業振興基金・水産物販売促進活動・畜産振興・観光振興・合併処理浄化槽・医師確保・行財政改革・住民協働)
- 豊間根地域の防災対策について
- 畜産業の現状と堆肥センターの運営状況について

## 三ヶ尻 隆雄 議員——18P

- 町長所信表明について  
(農業振興・畜産振興・生活環境基盤整備)
- 合併問題の再確認について

## 佐藤 照彦 議員——19P

- 町長所信表明について  
(第3期沼崎町政の基本理念・産業振興基金・漁協合併・商店街空き店舗対策・企業誘致・観光振興・子育て支援・医師確保・第4期介護保険事業計画の策定・学校給食・新学校図書整備計画・町立図書館の整備・住民協働・ふるさと納税制度)
- 教育行政について

## 黒沢 一成 議員——20P

- 町長所信表明について  
(郷土資料館・行政コスト削減)
- 老人福祉行政について

## 小林 隆 議員——21P

- 織笠新田集落センター前の橋の整備について
- 岸壁の整備について
- 町長所信表明について  
(水産業振興・農業振興・生活環境整備)

## 議員12人が一般質問





吉川淑子議員

## 子育て支援

# 「病児対応型」自園以外の受け入れ

## 第一保育所と来年度実施に向け協議

質問 子育て支援対策について、次の2点を問う。

- ① 「民間保育所の病児・病後児保育事業（自園型）への支援をしてきたが、平成21年度から『病児対応型』として自園以外の児童受け入れができるよう支援を拡充する」とあるが、具体的に説明せよ。
- ② 「放課後児童クラブを4カ所に拡大する」とある

が、どの地区を選定したのか。

沼崎町長

①保護者が就労などの理由により、子供が病気の際に家庭での保育が困難な場合があるため、保育所で病中・病後の児童を緊急一時的に受け入れ、保護者が安心して就労及び子育てができるよう支援するものである。受け入



山田町第一保育所の病児・病後児専用の保育室

## 町の考えを聞く

れ園の山田町第一保育所では、感染防止のための専用保育室などの整備を終え、看護師1人を配置

し、自園の児童を対象とした事業を本年度4月から行っているが、来年度からは、自園以外の児童まで受け入れ対象を拡大するため協議している。②4カ所目の放課後児童クラブの選定については、地域のニーズや通所距離などを勘案した上で決定したい。

## 学校給食 ランチボックス制度の問題・課題 注文数把握と委託業者選定

質問 「ランチボックスを平成21年度の実施を目指す」とあるが、現時点での方向性と最大の問題点・課題は。

沼崎町長 学校給食のランチボックスについて、先進事例を研修するため、釜石市の教育委員会、給食センター、唐丹中学校、釜石中学校を視察訪問し、その後

も電話などで随時情報を得ながら調査研究をしている。内容は、保護者意向調査、弁当箱等備品購入、配膳室

の選定と改修工事、委託業者選定のための諸条件などである。また、弁当箱の見本を取り寄せて、その機能性、材質などの調査研究もしている。

現時点では、これらの事項を研究して、平成21年度の実施を目指している。しかし、実施するための最大の問題点・課題は①注文数の確な把握②委託業者の選定などであり、慎重に調査研究しなければならないものと考ええる。



鈴木善十郎議員

観光振興

# 小島取得後の体験観光事業

## シーカヤック体験を含め関係団体と協議

質問 オランダ島のほかに小島を取得し、オランダ島と一対にして、自然保護を基本としながら、新たな体験観光事業が展開できるよう織笠漁業協同組合と協議を進めているとあるが、新たな体験観光事業とは具体的にどのようなものか。

沼崎町長 オランダ島と小島は、国立公園の第二種特定地域に指定されていることから、自然公園としての保全と利用を図ることが第一と考えるので、基本的には現状のままです。

となる。

そのような規制の中で、どのような利用を図れるのかとなると、例えば、近年山田湾でもシーカヤックを楽しむ人たちの姿が見られるので、山田湾をシーカヤック体験のメッカにできないか、その拠点としてオランダ島と小島は大いに活用できると考える。

シーカヤック体験も含めた新たな体験観光事業については、これから関係団体と協議しながら取り組んでいきたいと考える。

### 議員12人が一般質問



3カ月児検診時に絵本をプレゼントされ「興味津々？」の赤ちゃん

### 子育て支援

## ブックスタート事業の効果

### 赤ちゃんとお話する家庭増に期待

質問 絵本を通して親子のコミュニケーションを深めるため、3カ月児健診の際に、おはなし広場ボランティアによるブックスタート事業として、絵本をプレゼントし、子育てにやさしい環境づくりを進めてきたとあるが、その効果は。

沼崎町長 児童を取り巻く家庭環境の変化や親子関係の希薄化の中で、絵本を介して赤ちゃんを保護者が心触れ合うひとときを持つてもらおうとかけつけたりするため、3カ月児健診時に絵本の読み聞かせ事業と併せて絵本をプレゼントする

ブックスタート事業を実施してきた。効果については、家庭の様子を聞くと、絵本がそばにあることにより絵本を読む機会が増えているようである。赤ちゃんと言葉と心を通い合わせるかけがない時間が増えていくと、期待を込めているところである。



稲川勝憲議員

## 教育行政

# 山田中学校格技場の改築

## 第8次後期計画策定時に検討

**質問** 山田中学校の格技場が老朽化しているので、第8次山田町総合発展計画の見直しを行い、早急に校舎あるいは体育館に隣接する場所に改築すべきと思うが将来の展望を示せ。

**松尾教育長** 格技場は、昭和46年度の建築から37年が経過し、老朽化しているのは確かである。これまで、各種維持補修など適宜対応することにより、生徒の授業およびクラブ活動などに支障が出ないよう努めてきた。今後の改築計画については、第8次山田町総合発展計画後期基本計画策定時に検討したい。

**質問** 国・県補助対象とな

る可能性は。  
**菊地教育次長** 中学校武道

場改築整備事業があり、補助率は3分の1である。  
**質問** 校舎・体育館の近い場所に建築すべきだという認識は。  
**松尾教育長** 校舎に近いところが望ましいと考える。

## 産業振興

# 産業活性化策提言の公表

## 会議の進行状況を見ながら検討

**質問** 産業振興を模索するため「山田町産業活性化推進協議会」が立ち上げられた。平成21年半ばまでに、活性化策の提言を得ることになっているが、来年の3月末頃に中間のまとめとして、議会に公表する考えはあるか。

しかし、会議の進行状況を見ながら、中間のまとめができる状況になれば報告したい。  
**質問** 「小島を取得し、オランダ島と一対にして体験観光事業が展開できるような織笠漁業協同組合と協議する」とあるが、取得に向けてのタイムスケジュールや予算措置などを示せ。



昭和46年の建設から37年が経過し、早期の改築が望まれる山田中学校格技場

## 町の考えを聞く

**沼崎町長** 産業活性化推進協議会を立ち上げる段階で、岩手県立大学の遠藤昌雄教授を委嘱する際にも、また、各委員に対しても、本年度は全く自由に意見などを出し合うことをお願いしていたため、中間のまとめは想定していなかった。

**沼崎町長** 取得については、本議会後に価格などの交渉を行い、年度内に契約を締結し、所有権移転登記の手続きを進めたいと考える。予算措置については、土地開発基金を活用する。



道又秀悦議員

産業振興

# 産業活性化を図るための計画

## 来年9月までに取りまとめを依頼

**質問** 「山田町産業活性化推進協議会」を立ち上げ、来年にかけて第1次産業を基盤とした地域活性化策を検討することとされているが、協議会の組織と今後の計画は。

**沼崎町長** 組織の委員は、岩手県立大学総合政策学部遠藤昌雄教授と町内から水産加工業者2人、養殖漁家4人、耕種農家3人、酪農家1人、繁殖牛飼育農家1人、農産物加工組合員1人、特用林産物生産者1人、金型部品製造業者1人、プラスチック加工業者1人、マリン・ツーリズム代表者1人、特産品販売協同組合従

事者1人、商業者1人の合計19人であり、現役で活躍している方に委嘱している。これからの計画については、来年の9月をめどに具体的な産業活性化策の取りまとめをお願いしている。

会議を開催するときには、委員長の遠藤教授から会議開催前に、話し合いのテーマ・方向性・必要な資料の準備などが示されているので、今後も委員長と調整を図りながら進めていきたい。また、必要に応じて専門部会を設置しながら、産業の活性化策について、大いに議論を重ねて検討してもらいたいと考える。

### 施設整備

## 町立図書館の整備 基本的役割果たす施設に

**質問** 「町立図書館」の整備については、旧県立山田病院の敷地建物の購入を前提に県医療局との交渉を進め、平成21年度を目指して整備することのこと。町民はこれまで不便を感じてきたが、

ようやく解消されることは、大変喜ばしい限りである。については、どのような図書館にしたいと考えているか。

**沼崎町長** 平成15年5月の三陸南地震により、図書館は使用不能との指摘を受け、

緊急措置として「中央コミュニティセンター」に移転した。しかしながら、本棚の設置や閲覧室として利用できるスペースが少なく、蔵書のすべてを配架できないことや閲覧場所がないなど、利用者には不便をかけた。目指す図書館は、町民の身近にあつて利用しやすく、学習に必要な図書や資料、情報を収集整理し、生涯学習を進める上で最も基本的な役割を果たすことができるものにと考えている。

### 議員12人が一般質問



旧図書館内にある蔵書は、予約して借りることができます



山田湾内4漁協の合併が期待されます  
(浦の浜から見た山田湾)



阿部幸一議員

## 所信表明

# 湾内4漁協合併に向けての支援

## 副町長が協議会副会長に就任・積極的に支援

質問 次の4点を問う。

- ①山田湾内4漁協の合併は避けて通れないものであり、積極的に支援していくとあるが、平成21年度内の合併に向けての支援とは。
- ②新たな観光事業が展開できよう、織笠漁業協同組合と協議を進めるとあるが、協議の内容は。

## 町の考えを聞く

③循環型社会形成推進事業を推進するところがあるが、具体的内容は。

④行政コスト縮減や効率については、特別職等給与の減額、管理職手当の減額や職員定数の削減などの取り組みを推進するところがあるが、職員給与もカットしては。

### 沼崎町長

①山田湾内4漁協の合併については、大沢、山田湾織笠、大浦漁協が8月27日に開催した合併協議会で平成21年度内の先行合併に前向きに取り組むことを意思統一し、現在、専門委員会において、合併計画案の策定に取り組んでいる。町としては、副町長が協議会の副会長に就任したほか、担当課長、主幹が専門委員として、課員が事務局員として協議会を積極的に支援していく。また、町が造成した産業振興基金の活

用が可能である。

②織笠漁協との協議とは、小島の取得に向けて、売買価格や契約締結、引き渡し時期などを具体的に協議していくことである。

③内容は、合併処理浄化槽設置事業のことであり「個人設置型」と「市町村設置型」がある。本町では「個人設置型」により整備を進めている。今後の計画は、平成21、22年度に、それぞれ10基ずつ補助する計画である。

④職員の給与については、人事院勧告や条例に基づいて支給している。人事院勧告は、毎年、民間の給与水準を準拠したものであり、平成17年度は、給料表の水準を平均4・8%引き下げをしている。20年人事院勧告は、18年以来的の据え置き勧告となっている。職員の給与については、今後とも人事院勧告を尊重していく。



佐藤忠暉議員

## 害虫駆除

# マイマイガの卵駆除

## 大掃除の共同作業で実施

**質問** この夏、陸中山田駅前通りと国道45号の交差点を中心にマイマイガが大発生し、通行人や住民に不快な思いをさせたばかりか、通行車両のフロントガラスに止って運転のじゃまになったりした。そんなおりわが家の軒先に積んだ角材など5カ所に巾2枚、長さ3枚のマイマイガの卵を発見し焼却した。

そこで、町が音頭をとって卵の駆除を望むがどうか。  
**沼崎町長** マイマイガの生み付けた卵塊が、町内各所に見受けられる。来年の発生も懸念されるところであるが、予防対策として、現在最も効果的な方法は、卵塊の除去と考えられる。そこで、今月予定されている秋の大掃除の共同作業にマイマイガの卵塊の除去を加え、町環境衛生実践会連合会や商工会などと連携して実施する予定である。

## 観光事業

# 小島取得後の新たな事業とは

## シーカヤック体験のメツカに

**質問** 「小島」を取得し、オランダ島と一対にして、新たな体験観光事業を展開させたいとのことであるが、どのような利用を考えているのか。

**沼崎町長** 小島もオランダ島と同様、国立公園の第二種特別地域に指定されてお

り、取得目的は、あくまでも自然公園としての保全が第一である。当面は現状のまままで利用することになると考える。

そのような規制の中で、どのような利用を図られるかとなると、例えば、近年山田湾でもシーカヤックを

楽しむ人たちの姿が見受けられるので、山田湾をシーカヤック体験のメツカにできないか、その拠点としてオランダ島と小島は大いに活用できるのではないかと考えている。シーカヤック体験も含め、新たな体験観光事業が展開できるかは、これから関係団体と協議しながら、取り組んでいきたいと考える。

## 議員12人が一般質問



シーカヤック体験も含め、新たな体験観光事業が期待されます (小島)

# 「魚菜市场」の開設

## 課題が多い、朝市計画を支援



山崎幸男議員

**質問** 漁業者の所得向上を図るためには、生産者から消費者までの中間経費を削減しながら、水産物の安全・安心の地産地消を促進する必要があると考える。そのためには、消費者が安心できる地場産品を安く提供することが消費拡大につながり、所得向上が図られると考えることから、常設の「魚菜市场」を漁業者、農業者、商工観光業者の理解と協力を得て開設すべきではないか。

町の経済活性化に結びつくと思うがどうか。

**沼崎町長** 魚菜市场といえば、宮古市や釜石市にある市民、観光客を対象とした市場が想定されるが、本町において、同様の常設市場を建設するとなると場所、整備費、運営形態、採算性、既存商店のことなど、多くの検討すべき課題があり、容易に答えの出る問題ではないと考える。

なお、山田湾漁協が地域営漁計画の中で、荷捌き所での朝市を計画していることから、町としてはその運営を支援したい。

### 福祉行政

## 在宅介護に対する支援 住宅改修経費の一部を補助

**質問** 2点について伺う。

① 認知症や障がい者を支援するため、在宅で自立した生活ができるよう、また、その介護者の負担軽減を図るために住宅改修の費用の一部を助成する

とあるが具体的に示せ。

② 平成21年度から始まる第4期介護保険事業計画での介護サービスは、どのような充実を図るのか。ソフト面・ハード面で具体的に示せ。

**沼崎町長**

① 要援護高齢者及び重度身体障がい者の在宅での自立した生活を支援するとともに、その介護者の負担軽減を図るため、世帯のトイレ、浴室などの住宅改善に必要な経費に対し補助するものである。

② ソフト面については、介護予防教室等地域支援事業の推進、ハード面については、認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護の整備を検討し、介護保険事業計画策定委員会に協議をお願いしたいと考える。

### 町の考えを聞く



音楽にあわせて予防運動をしている北浜はつらつ教室の様子



大雨の際、道路が冠水した町道石峠線



豊間根信議員

## 基盤整備

# 排水路・側溝などの整備

## 維持補修の範囲で対処

**質問** 下水道整備区域外では、合併処理浄化槽を設置する循環型社会形成推進事業を推進するとあるが、どのような事業を計画しているのか。また、排水路・側溝などの整備計画は。

**沼崎町長** 合併処理浄化槽の設置補助は、国の推進交付金事業によるもので、個人および市町村設置型がある。本町では、個人設置型を実施し、年10基の整備計

画である。排水路・側溝などの整備については、維持補修の範囲で対処していく。

**質問** 豊間根地区の排水は、ほとんど地下浸透であり非常に不衛生である。今まで地下浸透は許可にならなかったが、今はどうか。仮に浄化槽からの水も排水路に流せるとすれば、年10基ずつ増えてきているので、排水路の整備が必要になるのでは。

## 議員12人が一般質問

**質問** 昨今、異常と思われるほど集中豪雨が発生している。仮に当地域で集中豪雨が発生した場合、豊間根地域は今まで以上の河川の氾濫が予想され、床下・床上の浸水をはじめ、家屋の水没、土砂崩れ、道路の決壊など大規模な被害が懸念される。今後、想定外といわれる災害が予想されることにに対し、地域の防災計画及び治水対策の計画はどのようなになっているか。

**沼崎町長** 本年8月に、水防法に基づき津軽石川水系

## 施設整備

# 豊間根地域の防災対策 洪水ハザードマップなど作成

**柏谷地域整備課長** 今は基準を満たせば、排水の地下浸透も許可になっている。

基幹的排水路は必要であると考え、維持・補修で対応していきたい。

**質問** 基幹的排水路を通せないものか。

**柏谷地域整備課長** 今後の課題として検討したい。町としては、放つて置けないという意識は持っている。

の浸水想定区域が県から示された内容は、100年に1回程度起こる大雨を想定してのものである。町では、円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、地域防災計画の中で位置付け、洪水ハザードマップの作成をはじめ、豊間根地域の防災対策へ取り組んでいく。

**質問** 県管理の豊間根八千代地区堤防崩壊補修をお願いしたが、その結果は。

**柏谷地域整備課長** 県から補修工事に着工するとの連絡があった。





織笠白石中山間地域等直接支払協定組合で実施したソバ刈り体験の様子



三ヶ尻隆雄議員

## 産業振興

# 集落活動・産地直売の推進支援

## 資料の収集提供や相談、指導に努める

質問 次の3点を問う。

- ①集落活動、産地直売の推進を支援するところがあるが、織笠白石中山間地域等直接支払協定組合の要望は進んでいるか。
- ②肉用牛、繁殖牛飼育農家の現状は。
- ③黒毛和種飼育農家の今後の展望は。

沼崎町長 白石地区の計画の核となるものは水車の建設であるが、それを核とした加工施設や直売施設をはじめ、周辺環境の整備など、地域で具体的な検討を行っているところであり、これらの作業に必要な資料の収集提供や相談、指導に努めている。

②16戸で構成されている農事組合法人エコファーム山田の現状は、肥育継続

## 町の考えを聞く

### 環境整備

## 豊間根に合併浄化槽モデル建設 個人設置型の需要を見て検討

5戸、繁殖継続3戸、休業2戸、廃業3戸、転職1戸、養豚継続1戸、乳

牛継続1戸の状況である。③現在、子牛相場は下がり基調であるが、飼料価格高騰の見通しは、いまだ計り知れない状況にある。したがって、多額の融資を受けるこれまでのやり方では、黒毛和種の飼育は採算を取ることが困難な状況である。

質問 豊間根地区の集落で、合併処理浄化槽のモデル的建設を実施することができないか。

沼崎町長 現在進めている合併処理浄化槽の設置補助は、国の「循環型社会形成推進交付金事業」によるものであり、浄化槽設置や維持管理の方法で「個人設置型」と「市町村設置型」に区分され、本町では、第8次総合発展計画を基に「個人設置型」を実施している。

モデル的建設のイメージ

が不明であるため「市町村設置型」について述べたい。この事業は、初年度から3年間は毎年20戸以上の設置を実施するなどの要件があり、浄化槽の設置と維持管理を市町村が行い、下水道料金と同じ使用料を徴収するのが一般的である。

また、10数戸以上をまとめて大型浄化槽で処理することも整備手法の1つで、個人設置型の需要を見ながら、将来的には検討したいと考える。



佐藤照彦議員

産業振興

# 漁協合併の実現見通し

## 合併に前向きに取り組むことを確認

質問 次の2点を問う。  
①新設した産業振興基金は、どう運用されてきたか。弾力的な運用とは。  
②漁協合併に伴う今後の協議内容、スケジュール、実現の見通しは。

沼崎町長

①県信漁連に無利子で預託した資金の融資は、今のところ実行されていない。審査の流れの中で、町長が融資対象事業か否かを判断することから、弾力的な運用ができる。  
②大沢、山田湾、織笠、大浦の4漁協は、8月27日に開催した合併推進協議会で、21年度内の先行合

併に前向きに取り組むことを意思統一し、現在、専門委員会において合併案の策定に取り組んでいる。今後のスケジュールは、11月に合併協議の経過を組合員に報告し、その後、推進協議会が策定した合併計画案を組合員に説明し、合併総会開催の運びとなる。合併総会で組合員の理解を得て、21年度内の合併を目指すことになる。  
協議会では、合併して漁協組織を強化しなければならぬとの共通認識に立ち、前向きに取り組むことを確認している。

## 議員12人が一般質問



お弁当を食べる児童たち（山田南小学校1年生）

## 福祉・教育

# ランチボックス制度の実見込み 早くて21年度2学期から

質問 福祉・教育を問う。  
①乳幼児・妊産婦医療費助成の所得制限廃止は20年度か。費用はいくらか。  
②保育料軽減率を40%程度に引き上げるのは20年度か。その費用は。

③学校給食（ランチボックス）は、21年度当初から実施できるのか。  
沼崎町長  
①所得制限の廃止については、21年4月1日からの実施を計画している。こ

れに要する費用は240万円ほど。  
②保育料軽減率の引き上げは、21年度からの実施を計画している。その費用額は約4224万円となる。  
③21年度当初の実施は難しいと考える。保護者意向調査の分析検討、委託業者選定方法検討などから、早くて21年度2学期からの実施となる。



黒沢一成議員

所信表明

# 図書館に郷土資料館の併設

## 委員会を立ち上げ検討

質問 旧県立山田病院へ図書館の移転整備を目指しているようだが、津波防災の啓発のため、津波被害に関する展示も入れて、子供達がいっしょに見学できる郷土資料館を併設しては。

松尾教育長 県医療局との協議が整い次第、外部委員などの活用検討委員会を立ち上げる。郷土資料館の併設についても、懸案事項となっているので検討をお願いしたい。

質問 公務員給与は、平均4・8%を引き下げる改革の途中であるが、中高年層

は地域の実態に比べまだ高すぎる。特別職報酬をさらに削減すれば一般職の給与引き下げも可能性が出てくる。削減分を町民のための施策に回しては。

沼崎町長 特別職報酬は、平成16年1月から19年3月まで1年ごとの条例で減額してきたが、特別職報酬等審議会の答申を受け昨年の3月定例会で改定し現在の額となった。見直しは考えていない。

一般職の給与については、今後とも人事院勧告を尊重していく。

### 福祉行政

## 介護施設が不足では整備には保険料増額伴う

質問 介護をするため働きに出ることができず、その間、収入を得ることができなくて困っている方もいるようだ。施設の入所待機者の状況は。また、緊急を要する方の状況は。

沼崎町長 3月末現在で、

### 町の考えを聞く



小規模多機能型居宅介護事業所は「通い・泊まり・訪問」を組み合わせ利用できます（船越地区にできた「やすらぎ」）

介護老人福祉施設68人、介護老人保健施設11人、計79人。緊急度の定義は難しいが、福祉施設入所希望者で介護度4、5の方は37人で、うち同居者なし及び入院中の方は23人であることから、現在のところ施設の不足分

は20人程度と考える。

質問 今後ますます高齢化が進み要介護者は増える。家族が家庭で面倒をみる

ことが基本であるが、今の社会情勢では施設が今以上に必要となる。見直しは。

沼崎町長 介護保険料との兼ね合いもあり大型施設建設は難しい。

認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護の整備を検討していく。



老朽化により改修が望まれている織笠新田集落センター前の橋梁(新田地区)



小林 隆 議員

## 基盤整備

# 織笠新田集落センター前の橋梁改修

## 強度は問題ない…タイミングを見定めたい

質問 織笠新田集落センターまでの道路は、未舗装であり、橋も木造で老朽化している。

この施設は、地域活動の拠点として重要であることから、永久橋として早急に改修し、周辺も整備するべきと考えるがどうか。

回答 織笠新田集落センター入り口付近の準用河川新田川に架かる橋について、調査・検討は、集落センター建設時に地元の方々による建設と聞いている。橋台はコンクリートの練り石積み、梁は鉄道レール、床版は枕木である。橋の長さは6m、高さは1.7m程度で、橋台も床版も通水断面を阻害しておらず、センターの利用状況や民家の数などを考慮

## 議員12人が一般質問

### 漁港整備

## 織笠漁港の岸壁破損

### 来年度から北側物揚場補修に努める

すると、強度的には問題ないと判断している。

しかしながら、経年劣化

していることから、降雨時のパトロールの強化など、今後の状態に注意していきたい。橋の架け替えについては、タイミングを見定めたい。限りある町の財源の効果的活用にも努めたいと考える。

質問 織笠漁業協同組合の北側舗装岸壁が破損している。段差もあり、働く人々に不便をきたしていることから、早急に整備舗装するべきと思うがどうか。

また、地震・津波などが来たときは安全か。

回答 織笠漁業協同組合の北側物揚場の破損個所については、荷捌所前から北に向かって、順次補修することとしている。緊急の補修を要する箇所が発生したため、平成18年度は別の個所を、19、20年度は荷捌所の西側を補修せざるを得なかったが、来年度から北側物揚場の維持補修に努めたい。

津波に対しては、波高や状況によるが、岸壁が冠水する程度では、倒壊することはないと考える。



## 第2回臨時会

### 農林水産業支援のため一般会計に1億円を追加

## 「山田町産業振興基金条例」を制定

第2回臨時会が8月4日に開かれました。町からは、本町で事業実施する農林水産業関係団体への支援を図ることを目的として、山田町産業振興基金条例の制定と同条例に基づく一般会計補正予算が提案され、審議の結果、原案のとおり可決されました。

本町で事業実施する農林水産業関係団体への支援を図るため、「山田町産業振興基金条例」と同条例に基づく一般会計補正予算が提案され、審議の結果、原案のとおり可決されました。

この条例により、産業振興を支援するための基金1億円が金融機関に積み立てられることとなります。

これにより、農林水産業の関係団体が新たな事業などを展開するため、融資を受けようとする場合には、次の経過を経ることになります。

- ①貸し付けにかかわる申請書を金融機関に提出
- ②金融機関は、その事業の目的・内容について町に報告
- ③町長は、その内容について可否を判断し、金融機

#### 関に報告

④融資にかかわる審査は、金融機関が行い、返済計画などの審査を経て決定以上のとおり、目的・内容・返済計画など総合的に判断し妥当であると判断されて、初めて融資が決定されることとなります。

なお、町が決定するのは事業の目的と内容で、融資にかかわる最終判断は、金融機関が行うこととなるため、町が預託した基金については、全額補償されることとなります。

主な質疑概要は次のとおりです。

**問** 産業振興策のための基金であれば、1億円では少なすぎると思う。3億円ぐらいに増やすべきでは。

**答** まず当初は1億円で実施したい。必要に応じて金

額は増減できるように、柔軟性をもって対処したい。

**問** 事業の目的・内容についてを町が判断し、融資については金融機関が行うといつても、多少のリスクはあるのでは。

**答** 基本的には、町が金融機関に預託をし、金融機関が借り入れる団体へ貸し付けるというところで、元本は補償される預け方である。リスクとすれば、預託しても利息がつかないことである。

**問** 産業振興基金条例と同じような条例を設けている市町村が県内にあるか。

**答** 県内で同じような条例を制定しているのは、陸前高田市で、農林水産業振興基金条例がある。基金の額は5000万円、市が直接貸し付ける制度である。

## 第3回臨時会

### 公共下水道布設工事請負契約を議決

第3回臨時会が9月2日に開かれました。町からは、平成19年(ワ)第809号損害賠償請求事件に関する専決処分と公用車(物損事故)に係る損害賠償事件に関する専決処分の2件が報

告されました。また、公共下水道山田管渠(20-1工区)布設工事の請負契約の締結に関する議案1件が提案され、審議の結果、原案のとおり可決されました。

## 第4回臨時会

### 副町長に佐藤氏、教育長に岩船氏

第4回臨時会が10月30日に開かれました。町からは、副町長と教育委員の同意案2件が提案され、審議の結果、原案のとおり可決されました。

#### ■副町長に佐藤氏を選任

川村永爾前副町長の任期満了に伴い、9月22日以降空席となっていた副町長の選任について、佐藤勝一

計管理者兼税務会計課長(59)が提案され、全員の賛成により同意されました。

■教育委員に岩船氏を任命  
松尾光信前教育長が10月29日で任期満了となったことから、新たに教育委員として、岩船敏行さん(61)を

宮古市に任命することに同意しました。同日、教育委員会が開かれ、教育長に選任されました。



しょういち 佐藤勝一 副町長



としゆき 岩船敏行 教育長

# 3 常任委員会で所管事務調査

## 担当部署から現状など聞き取り

議会には、総務、教育民生、産業建設の3常任委員会があり、毎年、町の事務・事業の調査や提言活動を行っています。本年度も7月から所管事務調査が始まりました。調査は委員会が担当する役場の部署を対象に行うもので、調査テーマに沿い職員への聞き取りや現地視察が行われています。

### 総務 住宅用火災警報器の設置普及率向上

総務常任委員会（道又秀悦委員長）の調査を8月6日に総務課、企画財政課、税務会計課、消防防災課の4課に対し行いました。テーマは▷行政改革推進▷自主防災組織育成の現状と課題▷健全な財政運営▷国土調査の進ちよく状況と今後の取り組み▷町税の滞納の現状と徴収計画▷火災予防対策と課題の6項目。

その結果、自主防災組織育成では「組織の未結成地区への結成促進」、国土調査では「事業の進ちよく率向上」、火災防災対策では「住宅用火災警報器の設置普及率向上」など活発な意見の交換がなされました。



担当課から説明を受ける総務常任委員



豊間根小学校で説明を受ける教育民生常任委員

### 教育民生 学校施設の早期改修

教育民生常任委員会（木下志き子委員長）の調査を7月24日に住民生活課、保健福祉課、教育委員会を対象に行いました。テーマは▷国民健康保険事業の運営▷環境、廃棄物処理、リサイクル▷介護保険の現状と課題▷社会福祉施設の管理運営▷町民の医療と健康▷学校教育施設の管理運営▷中高連携教育▷学校給食についての8項目。

質疑では「5大疾病の原因を分析し医療費削減の努力」「介護難民が発生しないよう介護保険施設の充実」「少子化に歯止めをかけるため積極的な子育て支援」「学校施設の早期改修」など活発な意見の交換がなされました。

### 産業建設 観光型イベントの検討

産業建設常任委員会（山崎幸男委員長）の調査を7月25日に地域整備課、産業振興課、水道事業所を対象に行いました。テーマは▷土地区画整理事業の進ちよく状況▷町道及び排水施設の現状と課題▷下水道事業による整備状況▷船越家族旅行村の現状と課題▷観光振興の現状と課題▷畜産振興と堆肥センターの現状と課題▷企業誘致対策▷水道事業の改良整備についての8項目。

質疑では「柳沢鉄橋下の河川改修と道路改修を県に早期実施要望」「観光型のイベント検討」「堆肥センターと大沢廃棄物堆肥化処理施設の運営安定」など活発な意見が交わされました。



大沢廃棄物堆肥化処理施設を視察する産業建設常任委員

# 鈴木善十郎議員が逝去



故 鈴木 善十郎さん

町議会議員の鈴木善十郎さん（北浜・46）が10月13日に逝去され

ました。

鈴木さんは、平成11年4月に町議会議員に初当選して、19年

4月には2度目の当選を果たし、町民の代表として活躍されました。5年余りの期間でしたが、

総務常任委員、議会広報編集特別委員を歴任。一方で教育問題や情報化推進、保健福祉、障がい者支援、防災対策など幅広い観点から町政の課題に積極的に取り組まれました。常に障がい者や高齢者など、社会的支援が必要な方々への配慮を忘れず、町民の福祉向上のため尽力されました。ここに生前の功績をたたえ、ご冥福をお祈りいたします。



## 議員出欠表

◎病気入院 □公務欠席  
△遅刻早退 ○自己都合

月 日	本会議種別	欠席者等氏名
9月22日	第3回定例会	欠席者等なし
10月2日	"	欠席者等なし
10月3日	"	欠席者等なし
10月6日	"	△佐藤忠暉
10月7日	"	欠席者等なし
10月10日	"	欠席者等なし

月 日	本会議種別	欠席者等氏名
8月4日	第2回臨時会	欠席者等なし
9月2日	第3回臨時会	欠席者等なし
10月30日	第4回臨時会	欠席者等なし

**明日の山田が見えてくる**

皆さんで議会を傍聴しましょう。

12月定例会は、12月上旬に開会の予定です。

## あとながき

▼実りの秋、収穫の秋、スポーツの秋が終わり、冬の気配を感じるようになりまし。11月になり水産の町山田がサケ漁やアワビ漁で活気づき、あわただしい日々が続きます▼国の方では国政選挙が取りざたされ連日報道が繰り広げられており、株価下落、円高、世界恐慌に陥るのではと伝えられ、あまり落ち着いた気持ちになれません。そんな中で、浜が大漁で漁家の皆さまや町民の皆さまの笑い顔が見られると良いですね▼今回の議会定例会は沼崎町政3期目のスタートで、所信への一般質問、19年度決算審査を中心とした議会でした。多くの議員が質問や提案をし、充実した内容だと感じています。今後も議会の一員として是は、否は否の立場で、しっかりと町政を見つめていきたいと思います▼もう少しで年末ですが多くの人が笑顔で新年を迎えられるよう願うばかりです。(山崎)

### 議会広報編集特別委員会

議長	昆 生
副委員長	黒 利
委員	豊 一
山崎 泰昌	稲川 勝
豊間 根	小黒 隆
豊間 根	小黒 隆
山崎 泰昌	稲川 勝